

## 胃カメラ(上部消化管内視鏡検査)予約票

検査予約日時： 年 月 日 ( ) :

- 予約時間の **20 分前**までにお越しください。都合上、開始が遅れる場合がございます。ご了承ください。
- 予約を取り消される場合やご不明な点がございましたら、火曜～土曜日の 13 時～17 時(祝祭日、年末・年始を除く)にクリニック TEL: 0798-26-5070 までご連絡下さい。

### 普段使用されているお薬について

- お薬を飲まれている方は、毎日かかすことのできない血圧、心臓、精神科などのお薬( )のみ、検査の 2 時間前までに水で服用して下さい。他のお薬は検査終了後よりお飲みください。
- **血をさらさらにする薬**は、血栓塞栓症が発生する危険性を考えて、**中止せず**に検査を行います。2 剤以上の抗血栓薬を服用されている方は、観察のみ行わせていただきます。
- インスリンを使われている方は、使用についてご相談下さい。

### お食事について

#### 午前

の検査の方

- 検査前日は夜 9 時までにご飯をお済ませ下さい。飲み物は夜 9 時以降も飲んでいただいて構いません。
- 検査当日の朝、お食事はできません。検査の 2 時間前まで、水かお茶は飲んでいただいて構いません。

#### 午後

の検査の方

- 検査前日の食事に制限はございません。
- 検査当日の朝食は 7 時 30 分までなら、パン(総菜パン以外)、具なしスープ(コンソメ・ポタージュなど)、ヨーグルト、ゼリーは食べていただいて構いません。お米、野菜や果物は胃に残りやすいのでおやめください。飲み物は、7 時 30 分までは何を飲んでいただいても構いません。
- 検査の 2 時間前まで、水かお茶はいつもより多めに飲んでください。以降は絶飲食です。

### 服装、検査時間、来院方法などについて

- おなかを締め付ける服や下着の着用はご遠慮ください。検査時、口紅などのお化粧品は落としてください。
- 検査の時間は通常 5～10 分程度です。鎮静剤の使用をご希望される方は、検査後にお休みいただきますので、検査終了後 1 時間以上はお帰りいただけないことをご了承下さい。
- **鎮静剤**の使用をご希望される方は、検査当日、自動車・バイク・自転車の**運転はご遠慮下さい**。
- ご高齢(75 歳以上)の方は、ご帰宅の際に、できるだけご家族の付き添いをお願い致します。

# 胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）の説明文

## 1. 検査の目的

鼻または口から内視鏡を挿入して、咽頭・食道・胃・十二指腸の病気を調べる検査です。

## 2. 検査の方法

- 当クリニックでは、胃カメラの方法をオーダーメイドでお選びいただけます。各方法の詳細は、別紙「当クリニックの胃カメラの方法」をご参照ください。
- 検査に使用するのは、いずれも極細径(先端部:5.4mm)の胃カメラです。

## 3. 検査の流れと注意点

### 【検査前】

#### 経鼻胃カメラ

- 胃の中を見やすくする液体を飲みます。
- 鼻の通りをよくし、鼻出血を防ぐため、血管収縮薬を鼻の中にスプレーします。
- 麻酔薬を塗った細く柔らかい管を鼻の中に入れます。

#### 経口胃カメラ

- 胃の中を見やすくする液体を飲みます。
- のど（咽頭）をゼリー状の麻酔薬で麻酔します。
- のどに麻酔のスプレーを追加することがあります。

### 【検査中】

- 鎮静をご希望される場合は、鎮静剤（+鎮痛剤）を注射します。
- 鼻または口から内視鏡を挿入して、食道・胃・十二指腸を観察します。  
経鼻をご希望の場合でも、鼻の通りが悪い時は、口から内視鏡を入れることがあります。
- 検査中はなるべく首や肩の力を抜いていただくと、楽に検査が受けられます。
- 口にたまってきた唾液は、飲み込まないように外に出してください。
- 経鼻胃カメラの方は、検査中もお話することができます。
- 必要に応じて、胃の動きを抑えるお薬を胃の中に撒きます。
- 必要に応じて、病気を見やすくするために色のついた液体を撒きます。
- 必要に応じて、良性か悪性かなどを判断するための小さな組織をとります(生検:組織検査)。

### 【検査後】

- 鎮静剤を使った場合は、検査後に約1時間ベッドで安静にいただき、しっかり目が覚めたのを確認できてからお帰り頂きます。
- お腹が張った感じ、麻酔の影響で声が出にくい、のどがしびれた感じがすることがあります。
- 検査終了後1時間ほどでのどの麻酔が切れます。少量の水分を飲んでむせなければ、水分や軽食をとっていただいて構いません。
- 組織検査を受けられた方は、検査後2時間の飲食を避けてください。検査当日の刺激物や脂っこい食事、飲酒、激しい運動は控えて下さい。

## 【検査の危険性（偶発症）】

- 胃カメラによって、偶発症（検査や治療に伴って、たまたま生じる不都合な症状）が起こることがあります。胃カメラによる偶発症は4000人に1人、死亡は53万人に1人の割合で起こると報告されています（日本消化器内視鏡学会）。
- 偶発症の主な原因は、組織を取った後の出血、内視鏡操作による出血、消化管に穴が開くことなどです。
- 死亡の主な原因は、静脈瘤など出血に対する止血処置や麻酔薬などの薬のアレルギーです。
- 経鼻内視鏡では、鼻出血が起こることがあります。
- 鎮静剤は比較的安全ですが、呼吸や心臓の動きを抑えすぎてしまうことがあります。鎮静剤による死亡は418万人に1人の割合で起こると報告されています（日本消化器内視鏡学会）。
- 万一、偶発症が発生した場合には、最善の処置をいたします。

---

以上の内容について\_\_\_\_\_様に説明いたしました。

説明者 ひだ胃腸内視鏡内視鏡クリニック

医師(署名): \_\_\_\_\_

看護師(署名): \_\_\_\_\_

---

## 同意書

上記の説明を受け、納得したうえで、胃カメラ(上部内視鏡検査)を受けることに同意いたします。

経鼻胃カメラ(鎮静なし)

経口胃カメラ(鎮静なし) 経口胃カメラ(鎮静あり) 経口胃カメラ(鎮静+鎮痛あり)

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

患者本人署名: \_\_\_\_\_

親族または代理人署名: \_\_\_\_\_

患者との続柄: 配偶者 ・ 父母 ・ 兄弟姉妹 ・ 親権者 ・ その他( \_\_\_\_\_ )

\*ご本人が判断不能な場合または署名不可能な場合は、代理人が代理人欄のみご署名ください。